

「京都大学の部局等における研究データ管理・公開に関する実施方針」ひな形

この文書は、「京都大学の部局等における研究データ管理・公開に関する実施方針策定のためのガイドライン」を元に、部局等で実際に実施方針を策定する際のひな形(サンプル)としてご活用ください。

令和3年3月15日
京都大学研究者情報整備委員会
リサーチデータマネジメント専門部会

京都大学〇〇研究科における研究データ管理・公開に関する実施方針

〇年〇月〇日
京都大学〇〇研究科〇〇会決定

〇〇研究科では、京都大学の理念に基づき、本研究科の理念として〇〇〇を掲げている。この理念に照らし、本研究科では研究データを〇〇〇することが重要と考える。よって、本研究科の基本理念および「京都大学研究データ管理・公開ポリシー」を踏まえ、本研究科における研究データ管理・公開の原則および構成員の責任と役割について基本的な考え方を、実施方針として定める。

1. 目的

京都大学研究データ管理・公開ポリシーを踏まえ、本研究科における研究データ管理・公開の原則および構成員の責任と役割について基本的な考え方を以下のように定める。

2. 定義

本実施方針において使用する用語を、以下のように定義する。

2-1. 研究者

本学の教職員、学生等で、本研究科において研究活動を行うすべての者。ここでいう「教職員」「学生等」は、「京都大学研究データ管理・公開ポリシー」解説・補足⑤に準ずる。

2-2. 研究データ

本研究科の研究活動の過程で研究者によって収集または生成されたデータ。研究素材として収集または生成した一次データだけでなく、それらを分析・処理して作成された加工データや解析データ等も含む。またそれらデータを説明する資料も含む。形態としては、数値、画像、テキストなど、あらゆる形態が含まれる。媒体はデジタル・非デジタルを問

わない。

以下、本研究科における代表的な例とその説明を述べる。

- ①観測データ：〇〇などの観測機器によって～したデータ。
- ②実験データ：～～
- ③シミュレーションデータ：～～
- ④フィールドノート：～～
- ⑤質問票：～～
- ⑥……

2-3. 作成者

研究データを収集または生成（分析・加工も含む）した研究者（グループ研究の場合はその研究グループ）。

2-4. 研究データ管理責任者

作成者の中で、研究データの適切な管理について責任を持つ研究者。

2-5. 利用者

研究データを利用する者。

2-6. 公開

利用者を限定せず研究データの利用を許可する一般公開（Publish）と、限定された利用者によりのみ利用を許可する共有（Share）の両方を合わせた概念。

3. 適用範囲

本実施方針は、本研究科において研究活動を行う全ての研究者に適用する。

4. 研究データ管理の原則

4.1 権限

作成者は、特段の定めがある場合を除き、研究データを利用する権限（以下、研究データ利用権限と称する）および研究データの保存・利用条件をコントロールできる権限（以下、研究データ管理権限と称する）を有するものとする。特に、研究データ管理責任者は、研究データ管理権限を移譲することも可能とする。ただし、将来的な研究において制約を受けるような移譲は行ってはならない。

また、研究者と組織が果たすべき義務を遂行するために、国や国際的な研究倫理指針または本学および本研究科が定める規程等において、その権限を一部制限する場合がある。

4.2 管理

4.2.1 研究データ管理責任者は研究データ管理を行う研究組織を明確にしなければならない。研究組織は個人であっても複数の研究者からなる研究グループであってもよい。

4.2.2 研究データ管理責任者は、研究開始前に、具体的な研究データ管理方法を記載した研究データ管理計画を作成するものとする。

4.2.3 研究データ管理責任者は、本研究科外の研究者と共同研究を行う場合、研究中および研究後の研究データの適切な管理方法や権限等について、事前に協議して合意を得ておくものとする。

4.2.4 研究データ管理責任者は、研究データの信頼性、完全性、トレーサビリティなど、研究データの品質確保に努めるものとする。

4.2.5 研究データは、研究中においては、研究データ管理責任者の下、作成者によって安全に保管されなければならない。

学外の機関が運営するクラウドストレージについては、「京都大学クラウドサービス利用ガイド」の条件を参考にすること。例えば、〇年〇月〇日時点では、〇〇〇が望ましい。

4.2.6 研究データは、研究終了時に、研究終了後も保存する研究データ、破棄する研究データと非管理データに分類し、破棄する研究データについては適切に破棄しなければならない。特に、個人情報保護・機密保持等の観点から公開に制限がある場合や、公開によって第三者の権利を侵害する恐れのある研究データを非管理データとすることは許されない。

4.2.7 保存する研究データの範囲及び保存期間は、各分野における法的小よび倫理的要件、研究者コミュニティおよび本研究科での標準等を鑑みて、研究データ管理責任者が決定するものとする。ただし規程等で特段の定めがある場合はそれに従うものとする。

本研究科においては、特段の定めがある場合を除き、以下のような基準で保存期間を検討すること。

- ①原理的に再現が不可能なデータについては、可能な限り永続的に保存する。
- ②〇〇なデータについては、原則として最低〇年間は保存する。
- ③……

4.2.8 保存する研究データは、発見可能かつ必要に応じて再利用が可能な形で保存されなければならない。具体的には、データの名称・作成者・作成日・概要等のメタデータを付与し、必要に応じて検索可能な状態で保存する。

4.2.9 保存期間の過ぎた研究データは、破棄、移譲、または公開等により適切に処分されるものとする。

4.2.10 研究データ管理責任者は、研究プロジェクトが終了した場合もしくは自身が退職等により本学で研究活動を行わなくなった場合は、関係者と協議の上、研究データ管理権限を学内の適切な研究者に移譲するか、または作成者が保持し続けるかについて決定し、適切に実施しなければならない。そのためには、研究後の管理権限について研究開始前に計画することが望ましい。

4.2.11 研究データ管理権限を移譲する手続きが適切に行われなかった研究データに関しては、本研究科と本学で協議の上、研究データ管理権限を含む全ての権限が本研究科または本学に移譲されたものとする。

4.2.12 データの管理について、4.2.1から4.2.11に関わらず、個人情報保護法及び関連法令やその他法令、各分野における研究倫理規程、本学の規程、研究開始時における契約等に特段の定めがある場合は、その定めに従うものとする。

4.3 公開

4.3.1 研究終了後の研究データは、特段の理由がない限り、原則として公開するものとし、公開するデータは可能な限りFAIR原則に則るものとする。

4.3.2 公開する研究データについては、4.3.1の原則を踏まえた上で、各分野における法的小よび倫理的要件、研究者コミュニティおよび本研究科での標準等を鑑みて研究データ管理責任者が決定するものとする。ただし、個人情報保護・機密保持等の観点から公開に制限がある場合や、公開によって第三者の権利を侵害する恐れのある場合は、非公開（公開対象外）とする。

4.3.3 非デジタル形式の研究データは、公開のために可能な限りデジタル化することを推奨する。この場合のデジタル化は、研究データの現物そのものをデジタル化する方法と、現物の所在等を示すメタデータをデジタル化する方法のいずれでも差し支えない。

4.3.4 公開することが適当とされた研究データは、適切なメタデータを付してインターネット上に公開するものとする。また、永続的に公開する場合は、永続的識別子を付して公開することを強く推奨する。

4.3.5 研究データを公開する際には、適切なライセンス情報を付し、利用者にはその遵守を求めるものとする。

4.3.6 デジタル形式の研究データの公開に際しては、信頼できるデータリポジトリを利用することを推奨するが、その利用を強要するものではない。特に、いかなる方法であっても、公開する場合には、将来的な研究において制約を受けることがないように注意すること。

4.3.7 データの公開について、4.3.1から4.3.6に関わらず、研究開始時における契約等、特段の定めがある場合は、その定めに従うものとする。

5. 本研究科の役割と責任

5.1 京都大学研究データ管理・公開ポリシーに従って、研究者が適切な研究データ管理お

よび公開を実現できるよう、本研究科は本学と協力して以下のような支援を行う。

- (a) 研究データ管理・公開に関する周知、法務または契約関連等を含む各種アドバイス、教育研修等、研究者に必要な支援を関連部局と協力して提供する。
- (b) 本実施方針を構成員に正しく実施させる。そのための活動を実施・支援する。
- (c) 社会状況や学術状況の変化あるいは法および倫理的要件の変化、京都大学研究データ管理・公開ポリシーの改訂に応じて、適宜本実施方針の見直しを行う。

5.2 専攻、研究室等において、京都大学研究データ管理・公開ポリシーの主旨および本実施方針を尊重した上で、研究データ管理・公開に関して独自の規程等を策定することは、これを妨げない。

附則

1. この方針は○年○月○日から実施し、実施の際現に存する研究データから適用する。
ただし、学生が作成者である研究データについては、当該学生の入学が○年度以降のものに適用する。

Implementation Policy on Research Data Management and Sharing
at the Graduate School of XXX, Kyoto University

Approved by XXX Committee of the Graduate School of XXX, Kyoto University
On MM DD, YYYY

In accordance with the Kyoto University Mission Statement, the Graduate School of XXX is committed to the mission of XXX. To pursue this mission, the department must XXX its research data. Based on the graduate school's mission and the "Kyoto University Policy on Research Data Management and Sharing," the principles of research data management and sharing and the basic guidelines for the responsibilities and roles of faculty and staff members at the Graduate School of XXX are set forth in this implementation policy.

1. Objectives

In accordance with the Kyoto University Policy on Research Data Management and Sharing, this implementation policy shall establish the principles of research data management and sharing and the basic guidelines for the responsibilities and roles of faculty and staff members at the graduate school as detailed below.

2. Definition

The terms used in this implementation policy are defined as follows.

2.1 Researchers

"Researchers" refers to faculty and staff members, students, who engage in research activities at the graduate school. The terms "faculty and staff members" and "students" shall be the same as defined in item (5) of the Supplementary explanation about the policy."

2.2 Research data

"Research data" is defined as the recorded information, both digital and non-digital, collected or produced by researchers at this graduate school in the process of their research activities. Research data includes not only primary data collected or produced for research materials, but also any subsequent processed data and analytical data generated from the primary data. It also includes documentation that describes the data. Any form of data is regarded as research data, including figures, images, and texts.

For example, research data at this graduate school includes the following:

- ① Observation data: Data obtained using observation equipment, such as XXX.
- ② Experiment data: ---
- ③ Simulated data: ---
- ④ Field notebooks: ---
- ⑤ Questionnaires: ---
- ⑥

- 2.3 Creators

“Creators” refers to researchers (or research groups) who have collected or produced research data (including the analysis and processing of such data).
 - 2.4 Research data managers

“Research data managers” refers to creators who are responsible for the appropriate management of research data.
 - 2.5 Users

“Users” refers to persons who use research data.
 - 2.6 Sharing

“Sharing” refers to both “publishing,” which allows anyone to use research data, and “sharing,” which allows only a limited amount of persons to use the data.
- 3. Scope of application

This Implementation Policy applies to all researchers who engage in research activities at this graduate school.
 - 4. Principles of research data management
 - 4.1 Authority

Creators shall have the authority to use research data (hereinafter referred to as “research data usage authority”) and the authority to preserve research data and control the terms of its use (hereinafter referred to as “research data management authority”), unless otherwise specified by the applicable rules. Research data managers are permitted to transfer their research data management authority to others. However, authority should not be transferred if there is a possibility that the transfer will restrict future research at the university.

Furthermore, to ensure that researchers and organizations can fulfill their obligations, authority may be partially restricted by the applicable rules and regulations, including the applicable ethical guidelines for domestic and international research and the relevant university or graduate school regulations.
 - 4.2 Management
 - 4.2.1 Research data managers must clarify the research data management structure. The structure may consist of one researcher, or a research group comprising multiple researchers.
 - 4.2.2 At the time of initiating the research, the research data managers shall establish a research data management plan that includes specific research data management methods.
 - 4.2.3 If implementing collaborative research with researchers in other organizations,

research data managers shall discuss and agree in advance on the methods and authority for the appropriate management of research data during and after the research.

4.2.4 Research data managers shall endeavor to ensure the quality of research data, including its reliability, integrity, and traceability.

4.2.5 In the process of research, research data must be maintained in a safe manner by creators under the supervision of research data managers.

When using cloud storage provided by external organizations, refer to the conditions in the “User's Guide for Cloud Services in Kyoto University”. For example, as of [date], XXX is recommended.

4.2.6 At the completion of the research, the research data must be classified to “research data to be preserved,” “research data to be discarded,” and “unmanaged data.” The “research data to be discarded” must be discarded appropriately. In cases in which sharing is restricted for reasons of personal information protection or confidentiality, or if the release of research data may violate the rights of third parties, such data must NOT be classified as “unmanaged data.”

4.2.7 Research data managers shall decide the scope of “research data to be preserved” and its preservation period in compliance with the legal and ethical requirements of the relevant research field, and in accordance with the standards of the research community and the graduate school. However, any special provisions in the applicable rules and regulations must be followed.

Unless otherwise specified by the applicable rules and regulations, the research data preservation period at the graduate school must be decided based on the following criteria:

- ① In principle, data which cannot be reproduced must be maintained permanently to the extent possible.
- ② As a general rule, data, which XXXX, should be maintained for at least XX years.
- ③ ...

4.2.8 “Research data to be preserved” must be preserved in a way that enables the data to be findable and reused as needed. Specifically, metadata should be assigned, such as the name of the data, the name of the creators, the date of creation, a summary of the data, etc., and the data should be preserved in a searchable format as necessary.

4.2.9 After the preservation period has ended, research data must be appropriately processed by means of discarding, transferring, or sharing.

4.2.10 If the research data managers will not engage in any research activities at the university due to the completion of the research project, or because they will retire from the university, they must consult with the parties concerned to decide whether the research data management authority should be transferred to an appropriate researcher at the university, or whether it should be maintained by the creators, and

they must then take the appropriate action. For this reason, at the time of initiating the research it is recommended to create a plan regarding the research data management authority after the research.

4.2.11 If the procedures for transferring the research data management authority were not followed appropriately, all authorities regarding the research data, including the research data management authority, shall be deemed to have been transferred to the graduate school or the university, after consultation between the two.

4.2.12 Notwithstanding 4.2.1 to 4.2.11, data shall be managed in compliance with the provisions of the Act on the Protection of Personal Information, as well as all applicable laws and regulations, the ethical regulations in the relevant research fields, the relevant university regulations, and any contracts concluded at the initiation of the research.

4.3 Sharing

4.3.1 As a general rule, after the completion of research, research data shall be shared as much as possible in accordance with the FAIR principles, except in special circumstances.

4.3.2 Based on the principles described in 4.3.1, research data managers shall decide the scope of “research data to be shared” in compliance with the legal and ethical requirements of the relevant research fields, and in accordance with the regulations of the graduate school. However, if sharing research data is limited in order to protect personal information and confidentiality, or if sharing research data may violate the rights of third parties, the data must be kept undisclosed (and must not be shared).

4.3.3 When sharing data, it is recommended that non-digital data is converted to digital data to the extent possible, either by digitizing the research data itself or by digitizing the metadata that provides information about the research data, such as information about where the data exists.

4.3.4 “Research data to be shared,” together with the appropriate metadata, shall be shared through the internet. When sharing data permanently, it is strongly recommended to assign a permanent identifier.

4.3.5 When sharing data, it is necessary to attach a licensing agreement and require users to comply with its terms and conditions.

4.3.6 When sharing digital research data, it is recommended (but not required) to use a reliable data repository. In any case, it is necessary to take care not to restrict future research at the university when sharing data.

4.3.7 Notwithstanding 4.3.1 to 4.3.6, data shall be shared in compliance with the provisions of any contracts concluded at the initiation of the research, as well as the applicable rules and regulations.

5. Roles and responsibilities of this Graduate School

- 5.1 This Graduate School shall provide the following types of support in cooperation with the university to enable researchers to manage and share research data appropriately in accordance with the Kyoto University Policy on Research Data Management and Sharing.
- (a) Provision of the necessary assistance to researchers in cooperation with the relevant departments, including information about research data management and sharing, advice regarding legal affairs and contracts, and education and training.
 - (b) Taking the necessary action and providing the necessary support to ensure that all of the faculty, staff, and students at the graduate school comply with this policy.
 - (c) Reviewing this Implementation Policy in response to changing social and academic circumstances, ethical requirements, and the revision of the Kyoto University Policy on Research Data Management and Sharing.
- 5.2 Divisions and laboratories shall not be precluded from formulating their own policies and regulations for research data management and sharing in line with the guidelines specified in the Kyoto University Policy on Research Data Management and Sharing and this implementation policy.

Supplementary Provisions

1. This implementation policy shall take effect on MM DD, YYYY, and shall apply to research data which exists at the time of implementation. However, in the case of research data created by students, this implementation policy shall apply to data whose creator was enrolled at the university in or after AY XXX.